

平成26年度 第2回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成26年7月30日（水）午後1時30分～午後4時15分
2. 場 所／平田総合支所 302号室
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦委員）
後藤金美委員、佐藤薫委員、土田雄一委員、多田光吉委員、
長谷部耕次委員、庄司美智子委員、土田伸委員・・・計7名
 - (2) 2号委員（識見委員）
阿部重敏委員、阿部敬子委員（副会長）・・・・・・計2名
 - (3) 3号委員（公募委員）
富樫文雄委員（会長）・・・・・・計1名
 - (4) 酒田市
平田総合支所 石川忠春支所長兼地域振興課長、阿部亨建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、太田英一地域振興係主任・・・・・・計4名
出席者合計14名
4. 欠席届／
 - 1号委員（団体推薦委員）阿曾智子委員、菅原長昭委員、佐藤由紀子委員・計3名
 - 2号委員（識見委員）土田民子委員・・・・・・計1名
 - 3号委員（公募委員）石黒由香委員・・・・・・計1名欠席者合計5名
5. 次 第／
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の選任

(5) 報告

- ①田沢小学校体育館の耐震改修の意見書について

(6) 協議

- ①平成27年度 平田地域づくり予算について
②地域課題について

(7) その他

(8) 閉会

6. 会議録／(1) 開会

▶富樫地域振興課長補佐

(2) 会長あいさつ

▶富樫会長

皆さん、ご苦労さまでございます。

地域協議会としましては、いろいろな課題があるわけですが、そのなかでも中学校の統合について時間をさいて検討させていただきました。現在は三期工事ということで、グラウンドの改修と体育館の解体が進んでいるところであります。

これからも様々な課題については、市民が主役という事で皆さんと一緒に課題解決に向け取り組んでいきたいと考えております。

また、今農業の形が大きく変わろうとしております。

農業の取り巻く課題についても、積極的に私たちの方から提案をしていかなければならないと実感しております。今後ともよろしくお願ひします。

(3) 支所長あいさつ

▶石川支所長兼地域振興課長

皆さん、ご苦労さまでございます。

梅雨明け宣言が出ましたけれども、内陸では大雨の被害も出ているようです。庄内では被害が出るような雨は降っておりませんが、いつ豪雨があるかわかりませんので、気を引き締めて災害の警戒に当たっていきたいと思います。

東部中学校の新しい体育館も含めた使用についての、その調整状況を

報告させていただきます。卓球、ジュニアサッカー、部活以外の中学生サッカーについては、新しい体育館を引き続き使用することで東部中学校の方から調整していただきました。一輪車については、南平田小学校とB&G体育館を利用することで調整をしております。

高畑山村広場の件については、いよいよ旧高畑中校舎の解体工事が始まります。解体期間中も広場は使用できますが、駐車場が確保できないということで、少し離れたところに駐車することになります。解体が終わりますと広場の整備の設計に入ることになります。

現在の地域の主な状況について報告させていただきました。

(4) 会議録署名委員の選任

▶富樫会長

会議録署名委員として、長谷部耕治委員を選任いたします。

(5) 報告

①田沢小学校体育館の耐震改修の意見書について

▶石川支所長兼地域振興課長（資料に沿って説明）

第1回目の地域協議会において、意見書を教育委員会に提出することを確認したわけですが、6月26日に会長、副会長、そして事務局の私も同席しまして、教育委員長あてに意見書を提出しました。

教育委員長は非常勤のため欠席とのことで、教育委員会からは、教育長、教育部長、担当課長が出席し、意見書の内容を伝えてきました。

内容は、耐震改修に関して地域からも声があり、また地域協議会としてもその必要性があると考えていることから、これを要望するというものです。

その理由としては、児童、教職員の安全確保、それから、同校は地域の避難場所指定を受けていることから、避難者の安全確保、そして体育館は地域行事にも使用されていることから、その際の利用者の安全確保、これらを理由として意見書を提出いたしました。

それに対し、教育委員会からは、まずは田沢の地域住民との話し合いに入り、施設の改修については市長部局との関わりが出てきますので、地域の方の意見をもとに市長部局との話し合いをして行くという形で今後進めていきたいとの話が、後日、口頭で返ってきております。

▶富樫会長

私の方から補足しますと、いま現在まで、私に対しては、教育長はじめ、教育委員会の方からは特に回答はございません。

その場の雰囲気については阿部副会長より報告をお願いします。

▶阿部副会長

会長と私が出席して、突然の災害が起きた際、子どもたちの安全確保のため是非とも耐震化をお願いしたいということ、そして地域住民や保護者に対して納得できる丁寧な説明をお願いしてきました。

なお、今回のお願いを受けて、田沢コミ振には、9月頃にPTAと地域の話聞きに来たいと、教育委員会の方から話が来ているとの報告があったということを申し添えておきます。

▶富樫会長

阿部副会長の補足説明も踏まえて皆様から意見をいただきたいと思えます。

▶後藤委員

会長と副会長には大変ご苦勞をかけましたが、だいたいの感触はどのような感じだったでしょうか。

文書では回答できないというようなことなのでしょう。

▶富樫会長

対面して話をしたなかでは、改修する、しないという即答は無かったわけですが、感じとしては、複式の解消ということも出ていますので、そのことも十分に考えないといけないという雰囲気はあったようです。

それに対して、我々は複式というものは、安心安全ということを考えますと、それ以前の問題ではないかという考えです。

どのような理由があっても、耐震改修はやらしてもらわなければならないということを、私たちがこれからも伝えていかなければならないと思えます。

▶後藤委員

もう一つ関連して、統合という噂もあります。

そういうこともあって、統合と言われると困るので、そのへんの兼ね合いについては、どういう状況なのでしょう。

▶富樫会長

そのへんは、自治会の数名の人とも話をしていますが、複式解消のための統合ありきではないと考えています。

そんなことで妥協するならば、地域協議会は何をやっているのかと非常にきついことを言われますし、当たり前の話だと思います。

でも、私の感触では、平成21年度以降に検討された形跡は無いと思っています。

▶長谷部委員

会長と後藤委員の話を聞いていると、このままでは非常に危険があるので改修してもらいたいという意思は固まっているのは分かるんですけども、教育委員長がなぜ出席しないのかということについては、非常勤だからということではどうかと思います。

非常勤であろうと何であろうと、最高責任者が出席しないというのが、我々の話を教育委員会が半分腰を浮かして聞いていると感じます。

それからもう一つ、我々自の組織がどういう根拠を持って相手にぶつかっていくのかということも考えて、お互いに責任を持ってやっていると、結局、会長の話のように、平成21年度以降検討された形跡が無いと言うことになる訳です。

それだけ、この問題に取り組んでいないということの裏返しなんです。

そこをどう解決していくか、考えていく必要があるのではないのでしょうか。

▶富樫会長

長谷部委員の指摘ですが、我々はこれを良しとして持ち帰ってきたわけではありません。

長谷部委員の指摘については、地域協議会でもやりますけれども、別の機関でもきちんとやっていただかないと困ることが私の考え方です。

▶富樫会長

それでは次の案件に入ります。

平成27年度平田地域づくり予算について、事務局より説明をお願いします。

(6) 協議

①平成27年度平田地域づくり予算について

▶石川支所長兼地域振興課長、阿部建設産業課長

(資料に沿って説明)

▶富樫会長

ご質問、ご意見等をいただきたいと思います。

▶多田委員

今度、山の日という事で国民の休日が出るというのはチャンスだと思います。

平田の里山など豊かな自然環境を活かし、里山の会などと協力してイベントやることも考えられるのではないのでしょうか。

また、認定農業者も含めて、一般青年の交流の場とか、農業に絞って

言えば何が良いかとは言いにくいのですが、一つでも良いから何か他の見本になるような事業が必要だと思います。例えば研修をしたり、講師を呼んで講演会をすることも考えられます。

これからは、やはり若い人を育てていかなければいけないし、それが税収にも繋がっていくと思います。

▶富樫会長

多田さんからご意見をいただきました。

先日も里山の会のメンバーと、アイアイ周辺で赤ねぎなども使っている煮会をやるかという話になりました。そうしたら、そこに子どもたちも連れて行ったら楽しいのかなと思っています。

やはり、一步一步そういうことからやっていかないといけないのかと思います。

その他に私から質問しますけれども、一昨年ですが、議会が地域協議会のあり方という事で検討会を開催して、私たちもそれに参加して意見を聞いたことがありますが、そういうようなことをやる予定はあるのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

現時点で、機関をもうけて検討に入るという予定はありません。

ただ、地域協議会も10年になることから、これからどうあるべきか、そういう検討の時期に来ているのではないかという話が出ております。

▶富樫会長

基本的に地域協議会というものは、合併したことによって地方自治法により市民の権利と義務を明確に出してもらおうという事で出来た組織ですので、まず基本的には合併した市町村が地域住民と一体感を持ってやっていくという事が必要だと思います。

支所長からは、いまのところ他の団体にあり方を検討してもらおうという事は無いということですので、自ら決まりの中でいろいろ考えていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

▶長谷部委員

八幡、松山、平田の地域協議会で視察や懇談会などをやってきていますが、この3地域の地域協議会の合同懇談会みたいなものを開催し、地域協議会のあり方を検討する必要があるのではないのでしょうか。

▶富樫会長

長谷部委員からは、3地区の地域協議会の懇談会などで、地域協議会の今後のありかたについて検討したらという提案がありました。

今回、支所の方からも状況の説明がありましたので、私たちもこれか

ら3地区で地域協議会のありかたについて話し合いをしていくという事でよろしいですか。

▶委員一同

はい。

▶富樫会長

それでは、そのように取り組んでいくこととします。

これについては、相手のある話ですので、内容の調整については私に一任してもらおうということでもよろしいですか。

▶委員一同

はい。

▶富樫会長。

その他に何かございませんか。

▶長谷部委員

資料では、25年度と26年度の予算比較で、26年度が2パーセントほど減額されていますが、27年度についても減額の方針なのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

来年の予算方針は8月の末になると出ますが、今の段階では分かりません。

▶長谷部委員

では、それが分かった時点でこの金額はおおよそ見えて来る訳ですね。わかりました。

それでは、まず首都圏ふるさと平田会ですが、同会の参加者も減ってきているわけなので、会の方にも今後の会のあり方を聞いてもらいたいと思います。そのうえで、将来どうするのかも考えつつ、事業内容を検討すべきです。

それから、海津市との青少年交流ですが、これはいつまで、どうするのかということですか。

これも、旧平田町地域の子どもだけですので、合併した3地域の合同ということにはなっていない訳です。各地域にも同じような交流事業があるので、今後どう進めていくのか課題だと思います。

それから、花いっぱい運動ですが、参加者団体が高齢化してきて、参加団体が減少傾向にあるというのであれば、参加団体を整理統合して、箇所を減らさないでやる方法があるのかどうか検討する必要があると思います。

種にするのか、花の苗にするのか検討も必要です。

もう一つは、ひらたファームステイですが、私も受け入れを頼まれています。歳もいっているものだから生徒たちに100パーセント応えることが出来なくなっています。

受け入れ家庭が少なく、平田だけで出来ない状況であれば、八幡、松山にも広げて行う事を検討する必要があると思います

それから目ん玉まつりですが、私はふれあい商工会の代表として出席していますから、そういう面ではっきり申し上げますと、植木まつり、産業まつり、目ん玉まつりの花火部門に、商工会の事務局、職員、それから商工会会員である小売屋さんが出店して協力をしている訳です。

これら3つの祭りの実行委員会の統合についても調整してもらいたいと思います。

▶富樫会長

長谷部委員からは、青少年交流やファームステイのことなど、いろいろな意見ありましたが、他に意見はありませんか。

▶佐藤委員

昨年、全戸配布で住民アンケートをした訳ですが、結果については今後の地域づくりの参考にするとありましたが、それを受けて地域づくり予算に反映したものは何かあるでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

アンケートでは、生活をしていくうえで不便なこと、大変なこと、こういうことを何とかして欲しいという意見が多くありました。

それを受けて、除雪であるとか防災とか、そういうことにつきましては、地域づくり予算で取り組むというよりも、土木課とか危機管理課と連携して取り組んでいます。

この地域づくり予算のなかで具体的なこととなりますと、やはり中山間地域の振興であるとか、人口減少が進む中で、交流人口をもっと増やしていくための事業などが必要であると考えています。

具体的には、生涯学習センターを活用した新たな事業の組み立てなどの検討をしていきたいと思っています。

加えて言えば、地域づくり予算だけでなく、地域の中で活動をしているいろいろな団体の力を借りながら、団体と連携も取りながら、例えば胎蔵山の登山道の整備だとかについても取り組んでいます。

今後も、各種団体の支援にも力を入れていきたいと思っています。

▶後藤委員

いま支所長よりあった登山道整備の関係ですが、まず、水飲み場が出来ました。あと、登山道の手すり整備は観光振興課と連携を図りながら

取り組んでいます。出来たところは大変好評で、今年も40人～50人くらい5月3日に他県からも登山に来ましたし、県内各地からも来て大変好評だったようです。

▶富樫会長

地域づくり予算に関して、庄司委員から何かありませんか。

▶庄司委員

地域振興事業で、縄文の野焼き事業に婚活事業を取り入れているのは、行政で初めてのことで良いことだなと思います。

私どもの婦人会でもよく話になるんですけども、婚活は業者やいろんな所でもやっていますけれども、人がなかなか集まらない、誰でもいいから集めて欲しいという声も聞こえます。そういったことから、せっかく行政でやるのだから参加したくなる取り組みをしていただいて市民の皆さんに周知徹底していけば、この事業が良くなるのではないかなと思っております。

そして、私どもの会でも、昔みたいなお節介おばさんみたいな人もおりませんので、私ども婦人会でもいろんなところに声かけをしていこうという話にはなりますが、いざとなるとなかなか踏み込めないというのが現状です。

少子化の問題とか、地域に若者がいないとか、本当に大きな問題ですので、事業をうまくやっていただければなと思います。

▶富樫会長

ところで土田委員、砂越駅開業100周年事業はどうなっていますか。

▶土田（雄）委員

支所長や富樫課長補佐からも先日アドバイスいただいて、あまりにも事業が大きくなり過ぎて、少し苦勞しているところですが、全体的に地域に広げたような感じで考えています。

前は砂越自治会主体でこじんまりとやろうかなと考えていたので、これから頑張っていかないと人集めが容易でないかなと思っています。

▶富樫会長

P T Aの土田委員から何かありますか。

東部中学校の職場体験の取り組みなどはどうですか。

▶土田（伸）委員

東部中学校としては、地域の企業にお願いして、2年生が職場体験という事で1日体験をさせていただいている状況にありますが、参加に賛同してくれる企業探すのがなかなか難しいという声が出ております。自分たちの行きたい場所、人気のある企業とか職場とかもあるのですが、

人数に制約があるものですから、必ずしも自分の行きたい職場に行ける訳ではないようです。そこでもっと市街地の方へも広げていきたいなと学校側でも話をしているみたいなので、もし地域協議会で何かあればご指導をお願いしたいと思います。

▶富樫会長

東部中学校では、松山地域、平田地域に2～3名の生徒が、職場体験という事で保育園にも行くようです。

中学校だけでは出来ない点もありますが、良い経験になることは間違いないので、皆さんから協力いただきたいと思っています。

その他、何か意見ございませんか。

▶佐藤委員

地域づくり予算と言うと、地域ビジョンに基づくものが優先されると思いますが、見てみますと農業を取り巻く環境とか変化があるという事で、ビジョン自体も23年から29年まであるわけですが、そのビジョンを見直すような計画というものはあるのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

地域ビジョンもそうですが、過疎計画も来年から新たな計画策定作業に入る予定です。

地域ビジョンは地域協議会で策定していますが、過疎計画と地域ビジョンは一体的なものでもありますので、まずは過疎計画の策定に合わせて見直しを行っていくことになると思います。

▶佐藤委員

やっぱり、事業を進めていく上ではビジョンを見直した方が良いと思います。

耐震改修とかについても、公共の建物については耐震改修を進めるといった項目を加えるといった方が、事業を進めるには良いのではないのでしょうか。

②地域課題について

▶富樫会長

他にありませんか。無いようですので次の地域課題についてお願いします。

▶阿部（重）委員

5月に地域の消防の演習があつて行ってきました。

ところが消防団の人員がかなり不足しておりまして、部の中でも人員確保出来ないという集落が出て来ています。

それと最近、部の再編が行われている地域もあるやに聞いております

が、そうした場合、今の2班1部制になっておりますが、それが1班1部になるわけです。そういうような処遇をどうしているのかまずお聞きしたいと思います。

もう一つには、2班制のところには消防の施設が2つある訳ですが、それらは地域でそれを保持していいのか、それとも市の方に返上しなければならないかお聞きします。

▶石川支所長兼地域振興課長

消防団の組織の再編については、大きな組織の変わりかたについての検討はされていませんが、団員が少ないという事で、より機動力を高めていく事を前提に、必要に応じて班の統合を進めております。

今、阿部委員から出たのは、中村と円道の2つの班の統合のことと思いますが、班の統合により軽積載車を入れて機動力を高めていこうとするものです。

その場合、2つあったポンプとポンプ庫がどうなるのかという事ですが、基本的には一緒になった時に軽積載車が一つのところに入りますので、もうひとつのところのポンプは廃棄になります。ただ、その廃棄したポンプを地元で何とか活用したいという話があれば相談に乗っております。

同様に、ポンプ庫についても地元が活用したいとなれば、地元への譲渡などについて相談させていただく事になります。

▶阿部（重）委員

譲渡という話が出ましたけれども、譲渡の仕方も色々ある訳ですが、その辺は相談に応じながら譲渡していくという事で理解してよろしいでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

はい、そういうことです。

▶富樫会長

他にございませんか。

▶多田委員

新山地区の災害対応事業について、進捗状況を教えてもらいたいと思います。

▶阿部建設産業課長

事業につきましては、今年と来年の2カ年間の調査と、その次の年から工事に入るという事で向かっておりますけれども、実際にどの範囲を調査していくかという事を話し合いをしております。このあいだ庄内支庁と市側の話し合いをして、これから地元にお話をしていくという状況

です。

砂防ダムの方は、河川砂防課の方でこれから調査に入りますが、それはまた別の事業として実施される予定になっております。

▶多田委員

おおよそこの説明で理解しましたが、大町溝の関連で、新山から檜橋の間で測量していましたが、これは今の話とは別の事業の作業でしょうか。

▶阿部建設産業課長

確認して、詳しいところは後でお知らせします。

▶富樫会長

他にありますか。

▶長谷部委員

商工会で、3地区の観光資源や自然も含めて、八幡、松山、平田を回りました。

それで十二滝に行ったら、十二ってどこからどこまで数えて十二滝なのという話になりましたが、吊り橋も渡ることが出来ず、あの状態では数えられませんでした。

ところが4月17日の入札で、ある業者が工事やることになったようですけれども、その辺はどうなっているのでしょうか。

▶阿部建設産業課長

十二滝に降りて行ってから吊り橋がありますが、吊り橋が腐ってきているという状態で危険だという事で、橋を渡ることを止めています。それで観光振興課でどのようにするか今検討中ではありますが、どうするかはまだ決まっていません。

4月17日の入札の件については、市道にある橋の手前の沢の護岸が崩れているという事で、十二滝本体では無くそこに行くまでの市道の災害復旧するための入札だと思います。

▶長谷部委員

大きい橋の手前に駐車場も兼ねている部分がありますが、その沢側が崩れていたために通行禁止になっているのは確認しましたが、そうすると十二滝の赤いつり橋のその先の滝見台まではどうなるのでしょうか。

▶阿部建設産業課長

それはまだで、そこを今検討中です。

▶長谷部委員

だから、そういうことが分からないと困るのです。

八幡には玉簾の滝、鳥海山に施設があり、ゆりんこもあります。

ところが平田に来てみたら、山楯の大ケヤキは水が出ない、いったいこれは観光資源になるのかという事なんです。

阿部家もそうなんです、当日は閉まっていて私が頼んで開けてもらいました。

結局、そこに行って視察をするということは、数多くの客を誘致しようというのが基本なんです。そうした時に行政がどういう対応をするのか全然聞こえてこないのが今の現状です。

松山は、大手門を主体に眺海の森、星の観察のドームも見ましたけれど、どこの地域も一体として捉えて、これをふれあい商工会の観光キャンペーンに入れていこうということを考えていますが、果たしてどこまでやれるのかというのが課題なんです。

だから事務局に、行政でも一緒に行かないと意味が無いから行くように頼めと言ったのですが実現しなかったのです。

それで、十二滝は十二数えてくださいと言っても数えられないのが現状ですから、観光としては十二滝観光は不可能だと思います。

▶阿部建設産業課長

今のところその通りです。

▶長谷部委員

だから、後で商工会の観光担当と話をして、建設産業課長が説明をしてくれるか、観光振興課で説明をしてくれるか、いずれかの手法を取ってもらうようにしますけれども、お互いに連絡調整しておいてください。

それからもう一つはシルバー人材センターの事です。これも合併して一本化になっている訳ですが、今でも、支部はあることはあるんですよ。しかし、作業量が非常に減っている、売り上げが減っているというのが実態なようです。それをどうやって回復するか、これは行政の問題でなく、シルバー人材センターという組織だから別だと言われますが、要するに市民に、窓口はここにあって、ここに頼めば仕事は受けてもらえるのだという事をもっと周知すべきだと思います。

今でもシルバー人材センターの事務所が農村センターにあると思って来る人もいますので、再度周知をお願いします。

それからもう一つですが、シルバー人材センターに冬季間の除雪をお願いしても、3支所地域バラバラなようです。

なんだか統制が取れていないと感じます。それで除雪した人にも不満があるようです。これはもらえた、これはもらえないというふうに不満が出て来ています。そういう作業の仕方が何となく不満を抱えるようになると、果たして作業を継続していけるのか心配です。

▶石川支所長兼地域振興課長

シルバー人材センターの関係ですが、現在、3総合支所にあった支部はなくなりました。現在、農村センターにいる職員はシルバーから派遣された施設管理人だけです。私が知りえる範囲では、酒田市一本のシルバー人材センターがあって、そこにそれぞれ地区担当の責任者がいて、各地区を回っているようです。それで、その組織が変わったということなどをどの程度皆さんがご存じかということ、まだ周知不十分と思われるので、シルバー人材センターの方へ伝えておきたいと思います。

除雪の関係などに福祉で持っている助成制度がありますが、それに作業員としてシルバー人材センターが関わった場合、助成制度から実際作業をしてくれた方に一定の対価が出る仕組みがあります。それが3総合支所地域で違うという事でしたので、そこは内容を確認いたします。

▶富樫会長

十二滝の件はどうですか。

▶阿部建設産業課長

先ほどお話あったように、日程等を聞きながら対応します。

▶長谷部委員

吊り橋とその手前の道、あそこは同じ林野庁ではないんですか。

▶阿部建設産業課長

そうです。

▶長谷部委員

そうすると、道路側の方は危険度が高いということで着工したけれど、吊り橋の向こうは観光だけの目的だから、あまり重要に捉えてもらっていないということなのですか。

▶阿部建設産業課長

いま工事発注になったものは市道の災害復旧という事で市が発注しております。それは借りている場所にもよりますが、借りている方で直すという事ですので、これは土木課になります。観光の方は、観光振興課で対応していくことになります。

▶長谷部委員

市道は市で借りているから、市で直すというのでしょ。

ということは、なぜ直すかということ、観光資源として人が来るから危険だという解釈になるわけではないですか。

でも、その先の観光資源が用を成していなければ、何で市道を直して行くのという話にもなるわけだから、やっぱり本来目的である十二滝という名勝をきっちり謳える、その施設だって直さないとやっぱり意味が

無いと思います。

▶富樫会長

各課ではそれぞれ事業を行っている訳ですが、その関連が見えない訳ですよ。

だからこういう意見が出る訳で、十二滝が数えられなければ十二滝じゃないというのも一理なんだと思います。

阿部家の件もそうだし、シルバー人材センターもそうだし、私も利用していますが、確かに利用者数は減少しているんです。誰に頼めばいいか分からないような状況になっていると感じます。

いろんな意見があるという事で、行政の皆さんからは、整理してつなぐものはつないで、あるいは内部で検討するものは検討して、答えを出してもらいたいと思います。

あとその他、ありますか。

▶阿部（敬）委員

山の日の話がありましたので、9月から与蔵峠の方に風力発電の調査が入るという情報ありましたけれども、支所のほうで何か情報ありましたらお知らせください。

鮭川の事ですけれども、こちらから与蔵沼の方に登ったりトレッキングというのもありますし、鮭川を超えてバイクで来る人もおります。

その辺の情報が、もしありましたらお願いします。

▶阿部建設産業課長

風力発電の調査の事は新聞情報以外は特に入っておりません。

毎年、県道の酒田鮭川線ということの期成同盟会がある訳ですが、その事業で毎年交互に主催をしながら交流事業をやっております。

今年も8月の末にその予定をしておりますので、その際にいろいろ情報交換をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

▶長谷部委員

風力発電については、県の方で栗子と与蔵峠は出していますが、まだ議会には下りて来ていないようです。

議会でまだ議論していないんですから、これは地域には来てはいないと思います。

▶富樫会長

それはどこの議会でするんですか。

▶長谷部委員

県議会におろして、どういう予算でどうするかは必ず出て来る訳ですが、まだ出て来ていないという事でした。

はやく議会に掛けて、あそこを県道拡幅するように運動していかないとだめだと思います。

▶阿部（敬）委員

もう一つ、地域振興課の職員の配置換えがあったようですが、その説明をお願いします。

▶石川支所長兼地域振興課長

7月1日で職員の配置が変わっております。

地域協議会を担当をしておりました地域振興課主査が6月いっぱいまで退職しております。そのあとに市民系の太田英一を地域振興係に配置換えしております。

▶富樫会長

他にありますか。

▶阿部（重）委員

私の地域で、最近熊が出没するのですが、どういう手立てをしたらいいかかわからないものですから、市ではどういうふうを考えているのでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

地域振興課の市民係が担当で、市全体では環境衛生課が担当です。

基本的に人命に危険が及ぶ場合は、その時点で駆除が出来ます。

ただ、出没したというだけであれば、まずは気を付けてもらうということで、地域、小中学校などに連絡し、防災無線でも平田全域に注意を呼び掛けています。

今年は、農作物の被害も少ないことから、駆除する状況にありませんが、農作物被害が著しいときは、駆除の対象になる場合もあります。

今は注意していただくという事でお知らせしながら、駐在所からはパトロールをしていただいております。

▶阿部（敬）委員

関連して、ハクビシンの駆除の関係については、今までどおりですか、少し変化はありましたでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

新聞には出たようですが、今までは、山形県の鳥獣保護関係の決まりの中で、ハクビシンを捕獲する場合は、捕獲免許のある方が、県の許可を取って捕獲しなければならないという決まりになっていました。

今度、自分の家の中や自家菜園に害を加えているハクビシンは、個人で捕獲することが出来るようになるようです。

いつからかというのはまだですが、そうすると許可の必要もありません。

んし、捕獲する届出も必要無くなります。

その捕獲した後の処分がごみという事になれば、ごみ焼却施設で焼却が可能という事になります。

もう少し情報が具体的に入りましたらお知らせします。

▶阿部（敬）委員

それはあくまで予定なんですね。

▶石川支所長兼地域振興課長

はい、その通りです。

方針を決定したということです。

▶阿部（敬）委員

捕獲して、ごみ袋に入れて焼却していいという事になるんですね。

▶石川支所長兼地域振興課長

ごみ扱いになるのだと思います。

▶富樫会長

それは確認して、いつからそういう対応が出来るようになるのか、自治会にもお知らせした方がいいと思います。

その他ありますか。

▶土田（雄）委員

地域協議会の資料が事前に送られてくるのですが、ちょっと遅すぎると思います。会議録の要約も、会議をすると通知してから送られてきますが、もっと早く出来ないでしょうか。

▶石川支所長兼地域振興課長

会議録が遅いというのは前回は指摘を受けておりまして、申し訳なく思っています。

出来るだけ早くするにはしていますが、今後十分に気を付けたいと思います。

▶富樫会長

いろんな状況の中で、あまり責任という言葉は使いたくないのですが、お互い指摘しあうのでは無く、こうした方がいいという前向きな形でお願いしたいと思います。

あとは皆さん、何かありませんか。

▶土田（伸）委員

松山学区から東部中学校に自転車で通っている生徒がいますが、セブンイレブンのところには横断歩道はあるのですが、朝の通勤のときに車の交通量が多くてなかなか渡れないという話を聞きました。飛鳥神社のところにも横断歩道があるんですが、それも渡り辛いという事で、

P T A会長と警察の方が知りあいということで話をしているという事です。これから対応がどうなっていくかというのは分からないのですが、そういう現況があることをお知らせしておきます。

横断歩道に歩行者がいれば、車は止まらなければいけないというのが交通ルールですので、各自治会の方にもお知らせをお願いしたいと思います。

▶富樫会長

それから、P T Aなどで要望を出していた金谷の歩道整備の件については、測量がこのあいだ入ったと思いますが、三年計画で整備するようです。

それともう一つ、東部中学校になったことで、中牧田、相沢、石名坂、小見、北目の自転車通学の環境整備については、危険箇所点検をしながら、ここの改良については県に要望を出しているようです。

(7) その他

▶富樫会長

その他、何かありませんか。

市の方からは何かありませんか。

▶石川支所長兼地域振興課長

ありません。

▶富樫会長

それでは阿部副会長より、閉会をお願いします。

(8) 閉会

▶阿部副会長

本日はお忙しい中、またお暑い中、議事に参加いただきまして誠にありがとうございました。

本日は5名の欠席がありましたけれど、今後もめげずに市への要望、意見、多く提言をしていきたいと思います。頑張りましょう。

第2回地域協議会、これにて閉会いたします。ありがとうございました。

会議録署名委員

長谷部耕次 